

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	言語コミュニケーション文化研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 博士学位審査過程の客観性と透明性を向上させるため、関係内規（要領）の整備を2011年度までに整備する。	→博士学位関係の内規整備。	B
2. 教育成果の定期的検証を行うため、FDワークショップを毎年実施する。	→FDワークショップの開催、参加者数。成果公表。	B
3. 進路調査を実施し、それに相応しい教育プログラムの深化を図る。	→進路調査の実施。卒業後の評価。	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(方針) 学生・卒業生に対して各種のアンケート調査をすることによって、学習成果を測定する。 (現状説明) 毎学期、授業終了時に、学生に対する授業アンケート調査を実施するとともに、毎年3月、卒業生に在学中の教育・研究並びに進路等に関するアンケート調査を行い、学習成果の調査をしている。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 学位の授与の基準については、甲号、乙号ともに客観的な授与基準と授与手続きを内規で定めている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	2001年の開設以来、毎学期授業アンケートを実施し、卒業時にも包括的なアンケート調査をしている。それらの調査結果は教員の授業改善に役立っている。
☆ 小項目6.4.2	学会での発表、論文の本数などの客観的な基準に基づいて、学位授与を行っている。博士論文については外部審査員を活用し、口頭試問も学外者にも公開することによって、客観性のある審査を行っている。
その他	2009年度の博士課程前期課程の修了者は25名、博士課程後期課程の修了者は1名。

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.4.1	アンケートの調査項目を精査し、アンケート調査の精度を高める。
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	
↓	
【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】
○「目標」3、「現状説明」6.4.1について、卒業生への進路調査に着手していることは評価できます。データを蓄積していつて、教育改善に役立てることが期待されます。

【学内委員】
○卒業生に在学中の教育・研究並びに進路等に関するアンケート調査を行い、学習成果の調査をしていることは評価できます。「進路調査を実施し、それに相応しい教育プログラムの深化を図る。」という目標の進捗評価は「A」とされていますが、進路調査は実施されていると思われませんが、その結果、教育プログラムの深化まで図られたのでしょうか。その辺りが判りませんでした。
○目標や指標にある「FDワークショップ」や「進路調査」などについての記述がある方が望ましいといえます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ なし

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次 Semester ごと履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
